



地域経済とコミュニティ放送の活性化

JCBA Relationship

A network made of people or organizations linked by some type of social relationship.

一般社団法人 日本コミュニティ放送協会 代表理事
関東地区協議会 会長 鈴木伸幸

2024年 睦月

この度の「R6能登半島地震」でお亡くなりになられた方々に謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

現在、令和6年1月1日に発生いたしました「R6能登半島地震」に際し、震源地でもある石川県で臨時災害放送局の設置が検討され、北陸総通から開局・運営の支援要請がJCBA北陸地区協議会に参りました。

当該地区会員の皆さまは、自らも被災された中で放送事業を継続していただいております、大変な中要請に応じていただけることになりました。

北陸地区協議会で対応しきれないことは、JCBA全体や他地区協議会の皆さまのご協力やご支援を頂戴しながらサポートしてまいります。

今後、情報伝達手段の確保は必要となる事項だと考えます。

JCBA日本コミュニティ放送協会 代表理事 鈴木伸幸

FM小田原株式会社 代表取締役

PROFILE 略歴

1961年生まれ 神奈川県立小田原高等学校卒業後 JAZZ PIANIST 世良譲氏に師事

ミュージシャン、音楽プロデューサー等を経て ヒップランドミュージックコーポレーション入社。
プロデューサー、A&R、原盤制作、エージェントの仕事に従事。

音楽業界時代携わったミュージシャンは、忌野清志郎、レベッカ、久保田利伸、コロッケ・・・他多数
音楽業界から45歳で転職。

2006年 FM小田原株式会社設立時、局長就任

2007年 FMおだわら開局

2015年 FM小田原株式会社代表取締役就任

2021年 JCBA (一社)日本コミュニティ放送協会 代表理事就任 関東地区協議会 会長

神奈川FMネットワーク幹事局 (神奈川県内、FMヨコハマ、神奈川新聞社を含めた全14局のネットワーク)

現在活動している団体

- FM小田原株式会社 代表取締役
- 一社)日本コミュニティ放送協会(全国239局)代表理事 関東地区協議会会長

- 小田原柑橘倶楽部株式会社 代表取締役
- 街かど案内所株式会社 取締役
- 小田原シネマ株式会社 常務取締役
- 株式会社小田原スポーツマーケティング(湘南ベルマーレフットサルクラブ)
エグゼクティブダイレクター 兼 CMO (最高マーケティング責任者)

- 一社)小田原市観光協会 副会長
- 一社)かながわ西観光コンベンションビューロー 設立理事
- 一社)小田原プロモーションフォーラム 代表理事

- 小田原環境志民ネットワーク 副会長
- 小田原藩龍馬会 幹事長
- 公益財団法人報徳福運社 評議委員&小田原報徳社 報徳二宮神社崇敬会理事

FMおだわら情報収集

南足柄市
神奈川県
小田原警察署
神奈川県小田原市土木事務所(河川&道路維持)
神奈川県企業庁酒匂川水系ダム管理事務所

日本道路交通情報センター
NEXCO中日本
国土交通省整備局
神奈川県道路公社
箱根ターンパイク

JR東日本
JR東海
小田急電鉄
箱根登山鉄道&バス
伊豆箱根鉄道&バス
神奈川中央交通
富士急湘南バス
箱根ロープウェイ

東京電力
小田原ガス
NTT東日本神奈川支店
小田原市水道局

主要ショッピング施設
ガソリンスタンド

小田原市
小田原市防災部 防災対策課
↓
広報広聴室
小田原市公式発表

FMおだわら
情報収集・連携
&
発信

ファインウェザー
小田原の局地気象予報士

FM ODAWARA Relationship 防災連携

- 地上波 FM87.9MHz
- JCBAインターネットサイマルラジオ
小田原市防災課 アプリおだわら防災ナビ
- 神奈川エフエムネットワーク
神奈川県内FMラジオ17局(FMヨコハマ含む)
神奈川新聞社 カナロコ
- ニッポン放送
- J:COM西湘
- NHK横浜放送局

小田原市民、近隣住民、神奈川県民、他地域住民

FM ODAWARA Relationship

行政
 総務省 環境省 神奈川県 横浜市
 小田原市・南足柄市・箱根町・真鶴町・湯河原町・松田町・中井町・山北町・開成町・大井町

○イベント&観光事業
 一社)小田原市観光協会 副会長
 ○一社)かながわ西観光コンベンションビューロー設立理事
 ○一社)小田原プロモーションフォーラム 代表理事
 ○街かど案内所株式会社 取締役
 ○湘南ベルマーレフットサルクラブ CMO

※○は設立に参加した団体です。

○まちづくり事業
 ○小田原柑橘倶楽部株式会社 代表取締役
 ○小田原藩龍馬会 幹事長
 ○小田原シネマ株式会社 常務取締役
 ○市民ホール文化事業実行委員会
 小田原箱根商工会議所
 箱根プロモーションフォーラム



○メディア関連
 ○FMおだわら87.9MHz
 JCBA日本コミュニティ放送協会 代表理事
 ○神奈川FMネットワーク(14局) 幹事局

○環境事業
 ○おだわらSDGs実行委員会 副会長
 ○小田原環境志民ネットワーク 副会長

さまざまな団体とつながることにより
地域に密着したプロデュース、プロモーションを可能としています。
さまざまな団体とつながることにより情報が集まる。
災害時も各団体からの情報が集まる小田原市と民間各団体とのハブ

地元をよく知るからこそできる地域に密着した街づくりプロデュース、プロモーション

コミュニティFM 健全な経営に向けて

○コミュニティFM

会社を経営する ラジオ局を運営するのではない

徹底した経費の見直し

正社員を極力少なくする

放送収益の維持

地域の情報をリアルタイムで伝える生放送が大切

地域と密接な関係を活かし様々な事業を模索している局が経営的に安定している

放送収益以外の長所を持つ 得意分野での収益を増やす

行政からの出稿費に頼らない(地域政治とは距離を持って接する)

自社だけでなく他局との営業の共有

○CFM局の収益の形

※ 放送収益だけで運営している

※ 放送収益+自治体からの放送料や防災支援で運営している

※ 放送収益+イベント業務等で運営している

※ 放送収益+配信他のメディア活動等で運営している

※ 放送収益+異業種の収益で運営している

収益構造が各社違うため一つの方法は見出せないが、共通では地域特性を生かした収益構造にしている
マイクロツーリズム支援等

FMおだわら 収益事業



2017年11月

舞台 刀剣乱舞 小田原城特設公演

運営舞台設備会場設備 1200人動員、ネット配信4万販売



2018～2023年11月 神奈川県主催
FUMA NINJA LEGEND OF ODAWARA
風魔忍者ハノイ公演 制作プロデュース

京で、
会いに行く

ア・オー・ショー

ベトナム発! まったく新しいサーカス!!

★日時
平成30年 11月8日(土)
開演 17時45分 開演 / 18時30分
終演予定 20時00分

★会場
小田原市民会館 大ホール
〒250-0012 神奈川県小田原市本町1-5-12

★入場料
S席3,500円 A席3,000円
学生券1,500円 (S・A共通)
※全席指定。4歳未満は入場できません。
※学生券は、2歳以上の小学生が対象です。
※学生券も全席指定の4歳未満児は入場できません。
※事前予約の都合で、会場での入場不可となります。

★チケット
<チケット販売>
会場：小田原市民会館 大ホール (自由座席)
ハルマ小田原 和久家書店 (自由座席)
0556-24-1150 (9時～18時) 電話予約受付
○ネット・電話予約/ローンチケット
6月10日 10:00 - 一般発売
10月3日 10:00
ローンと現金一括払い (Apple
ネット予約) ロンチケット
電話予約 ☎ 0576-0948-03
※店頭でクレジットカードが利用できます。

○ネット・電話予約/チケットがなくなり
6月10日 10:00 - 一般発売
9月10日 10:00 - 一般発売
※店頭でクレジットカードが利用できます。

★主催
小田原芸術文化実行委員会

★企画制作
公益財団法人神奈川県文化財団

★お問い合わせ
☎ 0465-35-1510
小田原芸術文化実行委員会
事務局 (FMおだわら内)

世界中で人気を博する21世紀型サーカスのニューヒーロー、シルク。
その中でも、30カ国で約200万人を動員し、各国で絶賛された「A O SHOW」。
ベトナムが生んだ、新感覚のエンターテインメントを小田原でぜひ体験してください。

2018年10月 KAAT神奈川劇場 県内3会場コラボ
A O SHOW小田原公演 小田原市民会館大ホール 800人動員



平成29年 カナガワリ・古典プロジェクト2017 大磯
大磯港特設会場古典花火 日本舞踊 地域伝統芸能
制作 プロデュース

海上自衛隊東京音楽隊
東日本大震災復興支援
チャリティコンサート

MAJESTIC AND JOY CHARITY CONCERT

日時：平成30年 9月8日 開演13:00 開演14:00
終演予定16:00

会場：小田原市民会館 大ホール 2500-3000

チケット販売：2500円(一般席)・4000円(特別席)
主催：東日本大震災復興支援チャリティコンサート実行委員会 共催：小田原市
後援：小田原市長官邸 小田原市民会館 小田原市立小田原高等学校 小田原市立小田原中学校 小田原市立小田原小学校
お問い合わせ ☎ 0465-35-1510

2018年9月 小田原市民会館
東日本チャリティコンサート
東京海上自衛隊東京音楽隊
制作プロデュース

まちづくり事業

小田原柑橘倶楽部株式会社 商品紹介

<http://www.odawara-kankitsu.com/>



小田原柑橘倶楽部と宝酒造のコラボ商品、クラフトチューハイ「小田原レモン」「寶CRAFT」「小田原うめ」が2018年11月13日発売



片浦レモンドロップ



片浦レモンジェラート



小田原みかんの花はちみつ

地域振興サイダー

このサイダーは2014年から小田原周辺地域の農家さんを応援することを目的として、地元の多くの企業や行政(小田原市)にご賛同いただいた小田原柑橘倶楽部が販売する、地域果物の販売支援を目的とした商品(ご当地)サイダーです。小田原周辺地域にて幅広く販売することで、今まで以上に人・物・お金が地域を循環する「地産地消」の仕組み作りの推進を図っております。現在、年間約14万本製造販売しております。



片浦レモンの生ようかん



オーベルジュ オー・ミラドー 勝又オーナーシェフ監修
カタクチイワシのパテ
(トマト&バジル、片浦レモン&クリームチーズ、オリーブ)

耕作放棄地の活用 小田原ワインプロジェクト

Since2020 2022.8月 収穫 醸造へ



JCBAのコミュニティ放送協会 現在の作業

コミュニティ放送全国運営社数：341 JCBA会員社数：247（株式会社等：238、NPO：9）
非加盟社数：94（株式会社等 72、NPO 22） 賛助会員企業（2023年11月現在 30社） 2023.11現在

沿革 初代代表理事 木村太郎氏

1994年（平成6年） - 日本コミュニティ放送協議会が任意団体として設立

2002年（平成14年） - 有限責任中間法人日本コミュニティ放送協会となる。

2009年（平成21年） - 一般社団法人日本コミュニティ放送協会となる。

現在のJCBA事務局のさまざまな作業

- ※ 会員社からの問い合わせへの対応(著作権へ抵触するか等々)
- ※ 著作権団体との交渉
- ※ 総務省放送法等の新法整備に対する意見提出等
 外資規制の問題、サイバーセキュリティ、コロナ禍のマニュアル作成
- ※ 開局のアドバイス
- ※ 営業案件交渉

JCBA日本コミュニティ放送協会として必須課題

○総務省 環境省 内閣府への認知度向上

○開局支援

あくまでコンサルと開局社への情報提供

○jasrac全曲申請に向けた取り組み Nextone

ハード&ソフトの開発orフィンガープリント業者とマッチング

○会員社をつなげることによりメリットを作る

○ Spectee Pro等SNS AI紹介

公正さを保ち、考えるJCBAへと変化しています。

災害とコミュニティFM

情報伝達ができなくなった時の恐怖

2023.1.17毎日新聞掲載された社説です。

コミュニティFMは災害時、地域のことを伝えることのできる人がいるメディアとして最も大切なものだと思います。

デジタル化オートイメーション化すればなんでも便利になり必要な情報を伝えられると勘違いしている人たちが多い。

情報の発信者と責任を持つのはアナログだということを忘れてはならない

千葉県では2019年9月の台風15号で最大64万戸が停電、2週間以上スマホを含め情報伝達手段がなくなりました。そんな中、かずさFMはブルーシート配布や生活情報、行政情報をたくさん伝え続けました。

災害時、たくさんの情報伝達ツールが必要になります。全国のコミュニティFMの運営にご支援ご協力ください。

ronsetu@mainichi.co.jp

社説

災害と地域密着FM

暮らしを守る役割再確認を

阪神大震災から28年となった。震災を機に整えられた情報伝達ツールの一つが細っているとしたら気がかりだ。

基本的に市町村単位で放送される地域密着型ラジオ放送「コミュニティFM」の閉局が関西で相次いでいる。

1992年に制度化され、阪神大震災の後に急増した。昨年時点で全国で339局を数える。

自治体の補助と広告費など独自収入で運営される局が多い。だが、大手スポンサーは見つけにくく、新型コロナウイルス禍で苦境に陥った局もあるという。補助も打ち切られるケースが出ている。

97年に開局した大阪府枚方市の「エフエムひらかた」は昨年2月に放送を終了した。震災翌年に誕生した兵庫県尼崎市の「エフエムあまがさき」も今年3月末の閉局が発表されている。

補助金の打ち切り理由について両市は、聴取率の低迷や機器更新費用の問題などを挙げた。スマートフォンなどの普及などを背景に、他の媒体での情報伝達を図ると説明している。

だが、災害時にラジオが果たす役割は大きい。

携帯電話は通信障害や電池切れが心配だ。行政無線は車中避難者らが聞き取れない恐れがある。停電時でも使えるラジオはその点で安心だ。

比較的小さなエリアを対象とする放送は、食料品や燃料の入手、入浴施設などの生活情報をきめ細かく提供できる利点もある。

災害時、期間限定の「臨時災害放送局」へとスムーズに移行することも可能だ。被災者が最も情報が必要とする発災直後に即応する経験とノウハウを備える。

実際に被災者に頼りにされた例は多い。2011年の東日本大震災では宮城県石巻市の放送局スタッフが避難所を巡り、入手した安否情報を流し続けた。16年の熊本地震ではリクエストに応じて地元小学校の校歌を流し、被災者の傷ついた心を癒やした。

地球温暖化の影響もあって大災害が頻発している。災害時の情報は多くの手段によって伝達する「複線化」が必要だ。コミュニティFMはその一翼を担うことができる。存続のため、行政と事業者、住民が知恵を絞ってほしい。

JCBA日本コミュニティ放送協会 新しい方向性

コミュニティFMが法整備されて30年 ラジオそのものの価値観が変化している中で何をするか

○新しいJCBAへ向けて

“例年通り”からの脱却 事務局長の刷新 常勤化することにより問い合わせ対応を充実させている
予算の明確化を進めてまいりました。

総合検討委員会の活発化

営業案件 全国ネットワークを使う発想を進めたい 放送するだけでなく実働が伴う案件が増えそうです

アクサ生命 ユネスコ

全会員局、他人事ではなく自分ごとにしてほしい

○取り巻く環境の変化への対応

CFMの必需品である原盤楽曲に対する状況の変化により著作権3団体も変化している。

インターネットやサブスクへの対応等が追いついていないのが現状

CFMの著作権料の現状はかなりの好条件なのです

○総務省 環境省 内閣府への認知度向上

環境省への認知度はまるでなくなりました。

今年度の事業から認知度を上げていきたい。JCBA&CFMとは何かから始めています。

環境省が進めている地域循環共生圏との連携

環境省 地域循環共生圏の考え方 各省庁も概ね同じ考え方の方向は同じ

○各地域がその特性を生かした強みを発揮

→地域資源を活かし、**自立・分散型の社会**を形成→地域の特性に応じて補完し、**支え合う**

